

情報公開文書

2008 年 1 月から 2022 年 1 月の間に京大病院リハビリテーション部にて高次脳機能検査や治療を受けた、脳損傷・神経変性疾患の患者さんへ

1. 研究の名称

脳損傷患者・神経変性疾患患者における高次脳機能障害と社会的予後に関する後ろ向き観察研究

2. 研究の目的

高次脳機能障害に対する効果的なリハビリテーション介入方法を検討するため、脳の損傷領域や疾患群ごとの高次脳機能の解析、高次脳機能障害と社会参加状況との関連を調査します。

3. 研究期間

研究機関の長の実施許可日から 9 年間

4. 倫理審査委員会の審査と研究機関の長の許可

本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得ておこなっています。

5. 研究機関の名称・研究責任者氏名

研究機関の名称：京都大学医学部附属病院リハビリテーション部

研究責任者：京都大学医学部附属病院 整形外科 リハビリテーション科
教授 松田秀一

実務担当者：京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部
主任作業療法士 山脇理恵

6. 情報の利用目的・利用方法

研究で得られた結果を、勉強会・研修会・学会発表・論文投稿に使用させていただきます。データの集計にあたっては、患者さんの個人情報を公開することはありません。また、個人を特定できる情報を施設外に提供することや、研究の目的以外に使われることはありません。

7. 利用する情報の項目

2008 年 1 月から 2022 年 1 月末までに、当科で高次脳機能検査を受けられた患者さんについて、カルテに保存されているデータを使用させていただきます。

(年齢などの基礎情報、疾病に関する病歴や臨床所見、治療方法、脳画像、高次脳機能に関する所見、社会参加状況など)

8. 情報の管理者

京都大学医学部附属病院 整形外科,リハビリテーション科 教授 松田秀一
京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部 主任作業療法士 山脇理恵

9. 情報の利用の停止

ご自身のデータを研究に使用されたくない場合は、窓口までご連絡頂ければ研究に使用しませんので、その旨をお知らせください。ただし、ご連絡いただいた際に既に発表されたデータに関しては、情報の利用を停止できないこともあります。

10. 研究の資金源・利益相反

1)資金源

運営費交付金 (教育研究費)

2) 利益相反

利益相反については「京都大学利益相反相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

11. 共同研究機関

大阪公立大学

研究責任者：大阪公立大学 リハビリテーション学研究科 講師 上田将也

12. 相談などへの対応方法

この研究についてご質問があれば、下記にお問い合わせください。

研究対象者等の個人情報及び知的財産保護等に支障がない範囲内で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能ですので、希望される方は窓口までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院リハビリテーション部: 075-751-3111 (代)、
研究担当: 山脇・馬場

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748

(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp